

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語表現Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0049		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	FACTBOOK English Grammar: Advanced (桐原書店)				
担当教員	穴戸 公子				
到達目標					
テキストの練習問題（インプット）を通して英文法の基礎を固め、正確かつスムーズに英語でのアウトプット（ライティングやスピーキング）ができるようになる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
評価項目1 文法構造理解	テキストの文法項目を理解し、関連する問題を正確に解答できる		テキストの文法項目を理解し、関連する問題をほぼ正確に解答できる		テキストの文法項目の理解が不十分なため、基礎的問題を正確に解答できない
評価項目2 文法運用能力	既習文法項目に関する知識を用いながら、複合的な問題に関して正確に解答することが出来る		既習文法項目に関する知識を用いながら、複合的な問題に関してある程度、正確に解答することが出来る		既習文法項目が定着していないため、複合的な問題に関してほとんど正確に解答することが出来ない
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	文法は英語でインプット (reading, listening) 及びアウトプット (writing, speaking) ができるようにするための根幹をなす。つまり与えられた情報を理解し、また自分が発する情報を他者に理解してもらうには単語の羅列ではなく、正しい文法を使った文章構成が必要となる。この授業では1年生からの継続で文法の基礎項目を学習し、英語運用能力を高める助けとする。				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に講師の講義が中心だが、学生は英作文や会話練習を通じて学習項目のアウトプットの機会を持つ。 毎回の授業は文法項目の確認→基礎問題→発展/応用問題を行う。小テストもある。 文法項目を学習した後に、その項目を使った会話文を練習・発表する。 授業の前後に予習・復習をすること (授業外学習・事前) テキストの文法説明を読み、練習問題を事前 (事前に指示) (授業外学習・事後) 授業内容を復習し、宿題をする 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題の解答はテキストに書き込まずにノートを使用することを勧める。 授業には英和辞書を持参し、辞書機能を含めてスマホの使用を禁止する。 会話練習では、ペアやグループ全員が協力して行うこと。 課題を必ず提出すること (提出期限を厳守すること) 本科目では、50点以上の評価で単位を認定する。評価が50点に満たない者は、願出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者に対しては、その評価を50点とする。 シラバスは授業計画の目安であり、実際の授業進度や学生の理解度に応じて変更する可能性がある 				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 16課 動名詞①	授業の目標を理解する。不定詞と動名詞の違いを理解する	
		2週	17課 動名詞②+会話練習	動名詞を使った慣用表現などを確認する/不定詞や動名詞を使った会話を練習する	
		3週	18課 分詞①	現在分詞と過去分詞の使い分けを理解する	
		4週	19課+plus 分詞②+会話練習	分詞構文を中心に発展形を理解する/分詞を使ったスピーチ文を練習する	
		5週	23課 関係詞①	関係代名詞を理解する	
		6週	24課 関係詞②+会話練習	関係副詞を理解する+関係詞を使ったスピーチ文を練習する	
		7週	25課+26課+27課 関係詞③と説	複雑な関係詞とパッケージとしての節の構造を理解する	
	8週	中間試験	動名詞(1)～分詞(3)に関する確認テスト: 解釈、単語・表現等様々な形式で既習事項が出題される。また、英文法講座での内容も出題される。授業内容重視です。		
	2ndQ	9週	英作文	パッケージとしての節を使って「もの」を説明する (英作文)	
		10週	Option6 形容詞+Option7 副詞	形容詞と副詞の違いを理解する	
		11週	20課 比較①	形容詞と副詞の比較表源の基礎を理解する (原級)	
		12週	21課+22課 比較②	比較の表現 (比較級と最上級) を理解する	
		13週	英作文+会話練習	形容詞と副詞を使って「人」を説明する (英作文) +形容詞と副詞 (比較表現) を使った会話文を練習する	
		14週	まとめ①	前期の学習項目の総復習 (読解、作文、会話など)	
		15週	期末試験	中間試験以降の授業 d 学んだ文法項目の確認問題	
		16週	全体復習+ 成績評価・確認	前期授業のまとめ及び前期の成績評価・確認	
後期	3rdQ	1週	28課 仮定法①	仮定法の基本構造を理解する	

4thQ	2週	29課 仮定法②+会話練習	仮定法の発展形を練習する+仮定法を使った会話練習をする
	3週	30課 否定①	否定の意味を表わす文の形を理解する
	4週	31課 否定② + 32課 疑問詞・疑問文	よく使われる日英語が入った表現を学ぶ+肯定文・否定文・疑問文の形を復習する
	5週	英作文+会話練習	これまでに学習した文法項目を使い、自分の生活を説明する(英作文)+会話練習
	6週	Option8+9 前置詞	前置詞の意味と環境表現を覚える
	7週	Option10 接続詞	接続詞のバリエーションを増やして長文にチャレンジする
	8週	中間試験	後期1~7回目の授業で学んだ文法項目の確認問題
	9週	Option 3+4 名詞	可算名詞と不可算名詞の違いを理解する
	10週	Option 4+5 代名詞	様々な代名詞の意味を理解し、使い分けられるようにする
	11週	英作文+会話練習	名詞と代名詞を使い分けながら、童話や昔話をまとめる(英作文)
	12週	Option1 さまざまな表現	英語特有の表現を学ぶ
	13週	Option2 語法	間接語法の構造を理解する
	14週	まとめ②	これまでの文法力を駆使して、長文読解にチャレンジする(クラスター・リーディング練習)
	15週	期末試験	後期中間試験以降の授業で学んだ文法項目の確認問題
	16週	全体復習 + 成績評価・確認	通年の文法項目のまとめ及び通年の成績評価・確認

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	小テスト・作文等	発表	ワークブック	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	10	10	0	0	100
基礎的能力	60	20	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0